

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	試験検査に関する調査研究			事業番号	011-256
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	衛生研究所 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	無		現状値	—	目標値	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画		有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		無	取組	—	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 39 年度	点検対象年度	令和 7 年度	

4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地域保健法（昭和22年法律第101号） 地域保健対策の推進に関する基本的な指針（平成6年厚生省告示第374号） 地方衛生研究所等の整備における留意事項について（通知）（令和5年3月29日付け健発0329第10号厚生労働省健康局長通知）
---	--------------------	---

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	衛生研究所		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	ウイルス検査、細菌検査、食品検査、環境検査の各事業に関連する研究分野	対象数 15	単位 分野
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	上記研究分野について地域保健対策の効果的な推進、公衆衛生の向上及び増進、地域における科学的かつ技術的中核として関係行政部局と緊密な連携をとり、調査研究成果を還元することにより、市民の安全・安心な生活を守る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	最新の検査方法の検討や検査技術を応用する課題に関して、当所単独での調査研究、あるいは他の地方衛生研究所、国立感染症研究所をはじめとした国立研究所等と連携をとり、共同で調査研究を実施する。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			
10	公民連携・協働事業			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	調査研究還元数（年報掲載、発表・報告等）	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	12	12	12	12
			実績値	14	13		
			達成率	117%	108%		
当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の実施状況を直接的に表すものであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	各検査担当につき1件の年報掲載、2件の発表・報告等を実施する。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	調査研究実施数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	16	15	16	
			実績値	13	16		
			達成率	81%	107%		
当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の成果を上げるための有意な手段であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	検査担当正職員1名につき1件の調査研究を実施する。						

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	試験検査に関する調査研究	事業番号	011-256
-------	--------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	437	437	437	437	437
13 財源内訳	国支出金		0	0	0
	府支出金		0	0	0
	市債		0	0	0
	その他 ( )		0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0	0	0
	一般財源	437	437	437	437
14 人件費 (b)	6,560	6,560	6,150	6,560	6,480
15 年間経費(c)=(a)+(b)	6,997	6,997	6,587	6,997	6,917

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	需用費	R4 決算	437	437		R4	決算	
		R5 予算	437	437		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 調査研究実施数	13
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,997	6,997
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	538,231	437,313
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルスをはじめとした各種パンデミック等への検査対応を確実に実施した上で、さらなる感染症のまん延防止、健康被害の拡大防止、今後のパンデミック発生を見据えた知見の収集には、当該事業は必須である。令和4年度の調査研究還元数については、新型コロナウイルスの感染状況等の変化により対面開催が開始されるなか積極的に活動し、目標を達成した。調査研究実施数においても、業務逼迫のなか、必要な研究を精査の上、必要な資源を投入できており、継続して効率的に事業を実施することで目標を達成できた。全体を通して、資源投入は最小限であり、高い費用対効果を維持している。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 衛生研究所において実施する調査研究は、最新の知見を用いた新規検査法の探索から、実態調査や精度管理まで多岐に実施しているが、これらの最終目標はいずれも市民の安全・安心を確保することとしており、事業目的の達成に対して大きく寄与しているものである。今後も感染症（新型コロナウイルス含む）や食中毒、水質事故や農業汚染など突発的な事象に対応するため、および日々の試験検査に精度よく結果を発出するため、最小の経費で最大の効果が得られる調査研究の実施に取り組む。